



令和2年度 第11号（通算315号）
—佐西学校だより—
令和3年2月27日発行
〔発行責任者〕
長崎県立佐世保西高等学校長 宅島 健司

唇をかみしめて （歌詞 吉田拓郎）

校長 宅島 健司

人は何か苦しいことがあった時、辛い時、悲しい時にこぶしを握り締めたり、歯を食いしばったり、唇を噛みしめたりします。本当は、その場所にとどまりたいと思っている人が、どうしようもない理由で立ち去らなければならないときの、あるいは立ち去ってほしくない人を、どうしても送り出さなければならないときの、精一杯強がった別れの詞だと思います。

佐世保西高 第55回生の 前途に幸多からんことを心から願う！

《3月の行事予定》

1	(月)	第55回卒業証書授与式
2	(火)	代休日（2/28）
7	(土)	スタディーサポート（1年） 特別講座（2年）
9	(火)	高校入試後期選抜1日目 総合的な探究の時間フィールドワーク（1年、～11日）
10	(水)	高校入試後期選抜2日目
12	(金)	国公立大学後期試験
13	(土)	特別講座（1・2年）
16	(火)	校内球技大会
17	(水)	高校入試後期選抜合格者発表（掲示9:30、Web10:00） 高校入試追検査
18	(木)	合格者登校日（スタディーサポート、合格者対象説明会、物品販売）
24	(水)	後期終業式 離任式
25	(木)	春季学習会（1・2年、～26日） 合格者体験発表会 転入考査



大学入学共通テスト・2次試験 （キャリア支援部より）

最後まで粘りぬけ！ 55回生！

1月16日（土）・17日（日）の2日間、初の大学入学共通テストが実施されました。会場は今年も昨年に引き続き長崎国際大学での受験になりました。今年度は、数学①の試験時間が70分に英語がリーディングとリスニングにと試験内容が大きく変わり、対策にも多くの時間を割いてきました。さらに、新型コロナウイルス対策のため、受験生以外は会場に入ることができず、今までと異なる雰囲気での受験となりました。

試験当日は3年生の先生方はもちろんのこと、他学年の先生方や後輩からも出発時に激励をいただきました。この2日間大きな混乱もなく予定通り試験が実施され、西高生も2日間の長丁場でしたが、全力を出し尽くし無事に大学入学共通テストを終えることができました。

今年の大学入学共通テストは、試行調査の段階からセンター試験に比べて難易度が高く、平均点が大きく下がることが予想されていましたが、5教科総合の平均点が昨年に比べ、文系+8点、理系+19点と予想に反し、大きく上がるという結果になりました。しかし、大切なのは共通テストが終わってからです。共通テストでプラスがあるなしに関わらず、個別試験の出来不出来が合否を大きく左右することは間違いありません。個別試験は、共通テストと違い、自分が思考した内容を答案上に自分の言葉で正しく表現することが求められます。最後まであきらめず、目の前の自分のやるべき事に一つ一つ全力を注いでほしいものです。

現在は、国公立前期試験に向けての特別編成授業も終わり、中期・後期に向けての特別編成授業がスタートしています。55回生も卒業を迎えますが、西高では卒業後も合格を勝ち取るための指導を続けていきます。中期・後期は志願倍率が高く、ひるんでしまいそうになりますが、前期で合格した人やあきらめて受験しない人も多いため、実質倍率はグッと下がります。そのため、最後まであきらめず、粘り抜いた人にチャンスはめぐってきます。ぜひ、後期まで気持ちを切らずに頑張りましょう。私たち西高職員は最後の最後までとことん付き合います。そして、1人でも多くの生徒が夢を実現することを心から願っています。



後輩からの激励

さて、今年度からセンター試験に代わり始まった大学入学共通テストですが、先に述べたように第1日程は予想以上に平均点が高い結果となった一方で、第2日程では平均点が第1日程を22科目で下回るという結果となり、次年度以降の難易度の高まりに注意が必要です。思考力・判断力重視の出題になっているのはまちがいありません。2年生は、共通テストまで1年を切りました。今受けている授業を大切に、不得意科目の学習から逃げることなく学力向上を図り、自分が志望する進路を実現できるよう、1日1日をしっかり過ごしていきましょう。



学年主任からの激励

理系課題研究（第2学年より）

本年度も2年生理系クラスを対象に理系課題研究が行われました。理系課題研究は、実際の研究内容に触れることで、事象を主体的に探究する姿勢や、自身の進路に関してより鮮明なイメージを持たせることを目的としています。今年度は、三菱みらい育成財団から活動費の助成を受けて実施しました。

11月のふるさと創生大作戦の最終発表会終了後、本校が本年度連携する以下の7つの研究施設（研究テーマ）から、各自希望するものを選びました。

1 <佐賀大学海洋エネルギーセンター 池上康之 教授>

【海水の温度差を利用した発電等のエネルギー開発】

2 <長崎大学工学部工学科 西川貴文 准教授>

【橋梁の維持・管理に関するシステムの開発】

3 <長崎国際大学薬学部薬学科 佐藤博 教授>

【微生物を用いた真菌の抑制及び消臭技術に関する研究】

4 <九十九島水族館 海きさら 野添裕一 様>

【クラゲの生態とその同定方法について】

5 <長崎総合科学大学工学部工学科 下島真 教授>

【最新のロボットの活用とプログラミング】

6 <長崎総合科学大学工学部工学科 本田巖 教授>

【音速・振動の測定及び可視化】

7 <長崎大学医学部保健学科 村田潤 准教授>

【加齢や障がいにとまなう平衡感覚の減衰と街づくり】

各自の研究テーマが決定した後は、各連携先に頂いた先行研究や実験説明文等をもとに、各テーマについての事前学習を行いました。

11月26日には、それぞれの研究施設にフィールドワークに赴きました。事前学習で学んだ事象を確認するとともに、研究の実態やその設備を肌で感じることができました。また、自分自身で体験することで、理系の進路への興味・関心をさらに強めることができました。（本年度は感染症対策の観点から、本校での出前講義での形式を採用した研究機関もありました。）

フィールドワーク終了後には、その成果を報告するためのプレゼンテーション資料の作成に取り掛かりました。当日の説明に加え、自分たちで調べた情報も交えながら、伝わりやすい資料の作成を目指しました。中には、当日の実験データを自分たちで処理・グラフ化し、資料に取り込んだグループも見られました。

2月10日には、それぞれの研究テーマでの代表班14班が、本校1年生および外部から来校された関係者の方々に発表を行いました。「理系の進路をより鮮明にイメージする機会になった」など、本活動での自身の成長を述べる声が多く聞かれました。



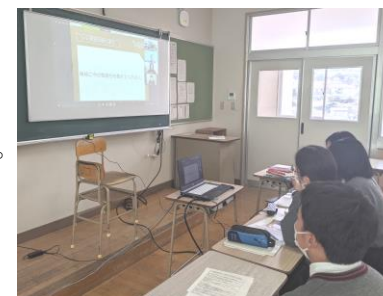
フィールドワークの様子



発表の様子

全国高校生マイプロジェクトアワード 九州 Summit（第2学年より）

2月21日（日）標記大会に校内の選考会を通過した3チームが出場しました。今年度はオンラインでの開催となりましたが、他校の生徒やファシリテーターの方と関われる貴重な機会となり、生徒にとっても学びの多い一日でした。



<実施後の感想>

- ・社会問題などを探究していた班もあり、私たちにはない発想だった。
- ・他県の高校生と交流できてよかった。
- ・参加した高校生の行動力に驚かされた。
- ・間の取り方やスライドの構成が勉強になった。

部活動の結果報告

<書道部>

第4回全九州高等学校総合文化祭（熊本大会）代替大会（書道部門）

九州高等学校文化連盟賞 2年 浦川七海

書道部内席上揮毫大会 優秀賞 2年 浦川七海

令和2年度長崎県高等学校総合文化祭書道展

準大賞 2年 坂井優香

新人賞 1年 西澤礼華、宮城心々実

特選 2年 浦川七海、市岡宙、杉原胡音、川原悠生、里村歩

1年 西崎愛菜、桑原理緒



<写真部>

第4回全九州高等学校総合文化祭熊本大会

写真部門 九州高等学校文化連盟賞 2年 馬込明花、増田ふぶき

<美術部>

第4回全九州高等学校総合文化祭熊本大会

美術・工芸部門 九州高等学校文化連盟賞 2年 北 有沙

